ぴっぴだより　No.13. 2014. 3. 14

2013年度も終わりの時を迎えました。何と早い一年だったか。何と楽しい一年だったか。何と豊かな…何と嬉しい…何とおれそう…何と深い…何と……この一年　ぴっぴでたくさんの赤ちゃんのお誕生もありました。そしてこれからも新しい生命に次々出会えそうです。

おおくりの10人はぴっぴが誕生した2007年度にはまれました。ぴっぴの7年間の歩みに思いを馳せる時。この10人の成長は感慨深いです。

先日の保護者会で「あたり前のようにある毎日」が実は一人一人の思いやりや働きで成り立っていることのお話がありました。そんなぴっぴの大人の人達を見ながらぴっぴの子ども達はこの一年も育ってきました。

かけがえのない一人一人が主体となって作り出すかけがえのないぴっぴの一日……遊びへの満足感だったり共に作業する喜びだったりみんなで考えたり話し合ったり気づいたりする嬉しさだったりいっしょに歌ったり劇をしたりの楽しさだったり……時には自分と向き合わなければいけない重い一日だったり。そんな時にも友だちの温かさにほっとしたり…かけがえのない一日は子ども達の心と体の中にぎゅっと詰まっていてなかなか伝えたり再現できるものではありません。宝石のような一日が一週間となり一ヶ月となり宝石のような一年と作り出します。普通の幼稚園のようにプログラム化された決められたカリキュラムではないので遅れても取り返せるというものではないのです。だからなるべくお休みしないでほしいと私達は考えています。そして「かけがえのない一人」はだれも補うことができません。10人揃って。4人揃って9人揃って8人揃って…31人揃って一つなのです。

子どもたちの2013年度秋から冬の小さなでも豊かな物語を記しました。一つひとつの場面を想像し、31人一人ひとりの成長を感じご一緒に喜んでくださったら嬉しいです。

退園する陽平くんと美羽ちゃんはこの続きができませんがどこにいてもどんぐりさんみんなと一緒に育っていきましょうね。海国ちゃん、行人くん、宇大朗くん、春雅くん、渚月ちゃん、海斗くん、櫻くん、宗悟くん、愛菊ちゃん、万葉ちゃんへ。「たのしかった～」って遊びに来てね。待っています。　31人の子どもたち、そして保護者の皆さまに今年度もたくさんたくさんのありがとう！です。　感謝を込めて…　　園長

― お知らせ ―

- 本日皆さまにお渡しした子どもたち一人ひとりのカードは5人のスタッフが何度も話し合い確認しながら文章化していきました。手分けして書いていますが5人の思いが詰まっています。この一年の育ちをふり返りまたその事を分かち合う機会があったら嬉しいです。

- 入園の集いのご案内

  新しくぴっぴの仲間になった皆さんと共に親子一緒に楽しい一日を過ごしたいと思います。

  日時　4月9日(水)　登園　9時～9時15分
  　　降園　12時半頃

  場所　ぴっぴの森
  　　道路からいらして下さい。

  持ちもの　いつもの着がえなど　雨具、帽子
  　　水筒にあたたかいお茶　親子分のお皿、お椀
  　　おはしかフォーク・スプーン

- モンベル製品　お申込みについて

  4月早々にカタログをご覧いただけます。お申込みについては4月にお知らせいたします。

ぴっぴの森の小鳥たち

1ヶ月前とくらべ、景色はまだまだ冬なのに、小鳥たちのさえずりが日に日ににぎやかになってきました。春になると、ウグイスなどのように南の国から渡ってくる鳥もいますが、1年中軽井沢にいるシジュウカラ、エナガ、ゴジュウカラ…etc などは歌声が変化します。

例えば、シジュウカラは「ジュクジュク…」が「ツツピー♪ツツピー」、ゴジュウカラは「トゥイ、トゥイ、トゥイ…」が「フィー　、フィー」というように いずれも音程が高く、まるで歌っているかのようです。

今年の春は耳でも、春を感じてみてはいかがでしょうか。

みなさまに幸せな春が訪れますように…。

二学期・三学期のエピソード

- 敬称略
- 日にち順

和（おやねくり）
く（くり）
松（松ぼっぐり）
ど（どんぐり）
ス（スタッフ）

二学期になって毎朝必ず何かおもちゃを持って登園の明。言葉をかけるとリュックにしまえるのですが時々取り出してごっこ遊びに登場させています。ス「バッグにしまっておうね」明「これがないと遊べないの」すぐとそばにいた宗「なくてもプリキュアごっこできるよ。だって明はこんなかわいい服着てるんだもん」明はニコニコとしながら聞き、すっと片づけていました。

朝、何故か大泣きして登園の蒼。涙が出ても泣きやむのも早くなったし日中とても楽しそうに遊んでいます。こうと蒼が仮面ライダー1号！2号！など戦いごっこで笑って遊んでいた時こう「おれんち、御代田だから蒼も御代田だよ。蒼のおばさんにいって おれんち、行っていいって聞いてさ～…」と遊ぶ約束をしていました。蒼は「？」の顔でしたがこうのあとをついて歩いて嬉しそう…。

9月のアート日。郁絵さんと遼・せ・奏のやりとり。郁「今日の空気は冷たいね。体を温めるにはどうしたらいいかな…」「上着、着る！」郁「それでも寒かったら？」「ズボンはく！」郁「それでも…」と問いかける郁に靴下→手袋→マスク→帽子と着ることで体を温めようとする三人。郁は「火」という答えを待っていたのだがなかなか答えは出ず遼「動く！」「走る！」に郁も苦笑。着ることと体を動かしたら温まるという発想に感心しました。

理陽が使っていたままごとのカップをこう後が少しかりてもらって使っていましたが、すきを見て後がさっといくつか持って行き理が気付いて「後林くん！そんなにたくさん使っちゃったらりおたちの使う分がなくなっちゃうじゃない！ちょっと返してよ」こう「このイチゴ・イチゴマンの毒を分けたら返すからね。ちょっと待っててよ」理「もう！いい加減に返して！」後がしぶしぶ一つ返して「じゃあこれ返すからよろこんでね」よろこんで帰っていった理をみてこう「ずっと怒ってばっかりいるもんなー」

ランチのあと、行「こんなにどんぐり拾っちゃった！」「どこに落ちてたか教えてあげようか？」宗櫂と共に森のはずれへ。どんどんみつかります。時に帽子がたくさん落ちていて皆で「これの帽子がかわいい！」「こっちはかっこいいぞ！」宗「双子だ！」櫂は帽子にいっぱいどんぐりの実を入れ「これ ひかりさんにあげよう！」とくぬぎだけでなくこぶしやツリバナ、色とりどりの木の実を集めています。台風のあとということもあり珍しい大量の！木の実です。宗「もう手に持てないよ！」行「カゴを持ってこよう！」ひばりハウスから各々カゴを持ち、森の外周へ。校ジと落ちてくぬぎの実がついたままのものを行が発見！宗「いいなあ～これも これ見つけたい！」歩いていくと落ちていること！校ジと10こ位のくぬぎの実がついたままです。楽しい台風後の木の実拾いでした。

散歩中、遼「何か今日 疲れなーい！」ス「今日、おお誕生日だから？」遼「5才だからだあ!!!」

県の監査の日。監査が終わったらランチにしましょうねと話していました。が監査がなかなか終わりません。悠「おなかすいた…」とひまじょうに訴える。悠「ちょっと おお味見させて…」未「まんま…まんま…」と涙声。そして待ちに待ったごはんは、何度も おかわりする人が続出でした。

大きい人と小さい人が手をつないでペアになりお散歩に出発。手をつないでいても あっちこっちに行こうとする真にペアの蒲「はい、まっすぐ歩いてよ！こっちこっち」「あ～もう、なんでそっちに行っちゃうの？！」と苦戦。それ舗道路に出る所ではさっと外側に回り、小さい人を守ってくれます。大きい人達は頼りになります。途中、崖を登っている何人かを見て、最高尾にいた真はしばらく考えていました。後蒼が笹につかまりながら登るのを見て よしっという感じで真は登り始めました。一度ずざっと尻もちをつき、靴が脱げかけ、手に少し土がついた時は半べそでくじけそうになりましたが上から下りてきた宇行が「大丈夫か？」と声をかけてくれると気をとり直しチャレンジ。蒼は何度ころんだもひっくり返っても めげずに登っていく。そして真も登りきりました。

「風船屋さんごっこ」とやって来た理の手には赤や黄色の紅葉の葉がたくさん。空地の所でプリキュアごっこをしていた遼陽朝に配ってくれています。遼は陽に命令口調が多く陽「ひーちゃんはこうやるから」と主張すると遼「もう入れてあげないよ」すかさず朝「プリキュアってそんなこわい人じゃないでしょ。助ける人なんだから」とやんわりつっこみを入れている。そんな朝はマイペースに「おお誕生ケーキ」をかり棒の上に作りそうそくまでたてて「6才なの。これイチゴのケーキだから」陽たちがハッピーバースデーを歌ってくれると「さあケーキを食べよう」とそうそく1本1本を外してなめる真。朝「そうそくにクリームついているからなめるんだな」芸が細かい。隣でコケや松ぼっくりを並べてお店屋さんをしていた蒲「あーそうそう。そうそくについたクリームなめるよねー。そういうのおいしいよね」と盛り上っていました。

朝の集まりの何と楽しそうなことか…前の席も後の席も肩を組み、前の席には男の子の間に(心)も入っていて嬉しそうです。前の席の(修)(こう)が「ラララララ…♪」と歌い出すとみんなで「きみがすきだって」を歌い出しました。だれか(又)は行っていない時がした。そして朝のお散歩時が…一番の(蒼)が走り出すと「マラソンの応援みたいだね」と大くり男子達が「がんばれ〜!」「今日のコースは長いね」としっかり見つめています。そしてみんなの「ちかこり!」の声も大きく。一番目の(平)の時は(明)「みんなでどうぞ!」みんな「ちかこり!」の出迎えがあり なごやかな温かい雰囲気が流れています。大くり男子達の会話…「この名前呼びを始めたのはだれだと思う?」(墨)「(墨)くんでしょ」「(墨)くんはやらなくなったよね」「これはどんぐりらしいんだね」…ぴっぴの朝の風景。各々らしく各々の思いで各々を受け入れている雰囲気が何とも優しい。

みんながお散歩に行く準備を始めても(蒼)(遥)(真)はデッキ何コのテーブルの中に隠れ、いろんなみんなが声をかけても笑っていて三人で目を合わせ、「先に行っていいよ!」(又)「先に行ってるね。ちゃっちゃとみかんを食べていっぱい楽しんでくるね」もぐもぐと(真)が出て来て脱落…。三人にいろんな人が声をかけたらしい。(又)が最後のトイレチームの人と戻ってくると、まだ二人は中でにやにや…。他のみんなはリュックを背負って待っています。(又)「行ってきます。お留守番お願いします」二人「いいよ。留守番するよ」(又)「待ってるからあとから来てね。でもみかんを食べられるようなきれいな手で来てね」手を見る(蒼)(又)「うれる(蒼)くんの手すごくきたないね。洗わないと食べられないから一緒に洗っちゃおうか」(蒼)脱落…。そして期待はずれの(蒼)に「えーっ?!」という顔の(遥)も一緒に出て来ました。そして二人もトイレを済ませ、みんなを追いかけました。

森に木の実探しに出ていた(理)に続いて(心)(力)(渚)(奏)もやって来てふさふさの落ち葉をみんなだけとばしたり、かさこそと足をつっこんだりして遊んでいるうち(奏)「ぼく、椅子作りたい!」と落ち葉を集め始めました。それを見て4人も「ベッド作ろう!」「おうちにしよう!」と斜面から大きな長い棒を拾って来てたてかけたり落ち葉をたくさん集め、ふかふか落ち葉布団のベッドが三つ完成しました。「寝ます」と言ってごろんと落ち葉のベッドに寝ころがるとそれはいい気持ち。(理)(心)は帽子を枕にみたてて笑いながらころころ転がっています。寝ころがると、青空にはくるくるとまわるいくつもの葉っぱが舞い、みんなの所へ落ちてきます。(渚)「あれは流れ星だね」(力)「願いごとしようよ」(奏)「つかまえるといいんだよ」と寝ながら落ちてくる葉っぱをキャッチしてその葉を両手に包み、皆で願いごとをしていました。(力)が家にしていた木の穴の中に何かを見つけました。(力)「みんな見て!この穴の中にどんぐりが入ってる!」自然に入ったとは考えにくい…。(渚)「もしかしたらリスか鳥が入れたのかな」(力)「じゃあここ冷蔵庫にしよう」と言って皆で探したいろいろキラキラやマツボックリを入れました。(泉)が(美)と手をつなぎその後ろを(求)がやって来て落ち葉で5人がたわむれているのを見て(美)(求)も大はしゃぎ。落ち葉を空に投げ、はらはらクルクル落ちてくるのを楽しみました。

(武)が泣いています。(遥)(平)ともめたようです。(美)「心配してあげてるよ」(真)「まひろは顔ふいてあげるよ」(な)「ティッシュ…ティッシュ…」とあわててティッシュを取りに行ってくれ(武)を囲み心配しています。(遥)(平)「ごめん」「ごめんなさい」と声をかけていますが泣き止まず…。(又)「待ってるね」だけ声をかけましたがどんぐりさん達は時々声をかけています。(武)が元通り遊び始めたきっかけは(美)「みて〜!!」とイモムシを見つけて見せてくれたことでした。立ち直るきっかけもなぜかすがすがしいね。

(修)(こう)(悠)(朝)がサッカーを始めました。(朝)「ここがゴールね」「○○ってことね」と説明しています。(真)が入ってきましたが自分一人でボールを使いたい様子。(こう)「みんなで使おうね」と優しく声をかけました。(真)「違う!まひろの!」と涙。しばらくがんばりましたが泣きながらどんぐりさん達がいる所へ…「ボール使えない」と言ったようで(平)が4人の所へ来て「みんなで使わなくちゃだめでしょー!」4人が「みんなで使おうって言ってるんだけど…」(平)「???」

葉が落ちた森は歩くのに絶好です。道路上の森を歩きたくて大きい人達が崖を登り出すと松ぼっくりさんもあとに続き、どんぐりさん達も登り始めました。高い所を歩いていると急に(悠)「こわいよ〜!」と大きな泣き声。(又)が何から間もなく(行)(泰)がかけ寄り、手をつないであげています。(泰)「おれはあっちへ行って来るわ」と右へなだらかに下りられる方向へ走り出しました。(泉)も(泰)を追いかけるように移動しています。(悠)の声は大きいのでが子ども達にまかせる事にしました。(冒)は下りてくる道を示すような位置から「オーライ!オーライ!」と手を使いバックしながら導いています。(泰)も「オーライ!オーライ!」とバックしています。(行)(泰)は靴が脱げた(悠)にかがんで履かせています。たくさんのみんなは下り終わって下から見守っています。やっと下りてきた(悠)は突然笑顔になり(悠)「鼻水がたくさん出ちゃったよ!」(こう)「大丈夫かあ?」下りて来た(行)は「がんばってえらかったな」上を見上げると(美)に(国)(渚)が寄りそうようについています。広い〜〜空間の中で「ひとつ」になっているぴっぴのみんなの姿がお日さまに照らされ輝やいていました。

手洗いから戻ってきた(泰)「もっちゃんと一緒に食べたいなあ」(奏)「ぼくも!」(又)「じゃあ今日はどこのテーブルでもいっせいにしようか!」あっという間に(求)の周りに(泰)(奏)(海)が準備し、(昊)(修)も「おれも…」とどんぐりテーブルへ。大きい人達が来て(武)(遥)(蒼)も嬉しそう…。あとからやって来た(平)(な)(美)は?? (又)「こっちも大丈夫」と大きい人達のテーブルを示すと喜んで座り出しました。一番最後にやって来た(真)もいつもと違う状況に?でしたが(ぴ)テーブルの残り一つに座りました。(求)が4杯目のおかわりに行くと(又)「ちゃんと昆布とこんにゃくを食べてからね」と誘っています。しばらくして(求)が手等のところに並んでいます。すると(泰)「大変!もっちゃんがおなべを横のにつけちゃった!」(蒼)のなべの中へ入れ、自分の器をからっぽにしていました。(奏)(泰)から論され(求)はこんにゃくを手でちぎって食べ出しました。大きい人達の元気よい声かけに感心しました。愛されている実感があるから小さい人も従うのでしょう。(求)のことだけではなく、(ぴ)テーブルに座った大きい人達は、みんなに声をかけ、めんどうを見てくれていました。

早い登園の悠と泰。二人に薪運びをお願いすると泰「悠一緒に運ぼう！」悠「うん。運ぼう！」建材の所に行くと泰悠どうやって運ぶ？」考えこんでいる悠に泰「そりの方が簡単に運べると思うよ」とそりを取ってあげ一緒に薪を乗せています。ストーブの所で薪を降ろし、次はダンボールを手でちぎります。これは悠にぴったりの仕事だと思ったのでしょう。泰「悠の出番だよ！」二人でちぎり始めます。泰悠あとから来た行はダンボールと薪をストーブの中に入れ、全開にした上ぶたの上に建材を並べてふたのような状態に。これは着火しないんじゃないかなと少し離れた所で②が見守っていると、何度目かの挑戦で着火し、みごとに燃えていました。大人だったら絶対にやらない方法で、全く手を借りずに、喜びつけ。大きな木をくべる時にはちゃんと風上に立って作業していました。ランチ時、焼きりんごを調理していると泰「今日はこれがつけた火だなね」と嬉しそうでした。

千歯扱きと木ずりすを作ってタカキビの脱穀とお米の籾殻とりをしました。どちらかやりたい方に集まって作業開始。木ずりは宗海行櫂がトップバッター。「1.2.1.2」と声を合わせてロープを互い違いに引き、うすを回転させます。これにはまったのが海泰櫂。最後まで作業していました。千歯扱きもたくさんの子ども達が作業していましたが後半は愛才渚が一生懸命。渚「これでほうきを作ってちらばっているのを集めたらいいんじゃない？」の提案で3人でほうきを作り始めはまっていました。

午後ランチをしたまき、替えるのは「いい！」と森の奥へ行ってしまった未。一緒に遊んでいた美「何かもったいくさいのよ～」と訴えられ、すんなりオムツ替えに。なぎちの声は絶大です。未がオムツ替えに行っている間に美は自分のおしりふきを出し「もったいない…」

保護者会の日の朝の集刊。②「今日は大人が3人だから大きい人運ぶのお手伝いしてね。よろしくね」行宇宗泰が大きくうなずき。泰「わかった。まかせといて！」お兄よびで明「あーちゃん今日はどんぐりコンサイトみたいに走ろうかな」理「りなとこーちゃん一緒に呼んで！走るから」二人で走りました。心後墨陽も一緒に呼んでと言うのでまとめて呼ぶと心後は左の駐車場の方へ、墨陽は右へさっと分かれて行ったので大くり麗は「すげー分かれた！」「面白い！」「墨くん久ぶりに走ってうれしそう！」と大笑いでした。遊びが始まると、宗才「ストーブの火が消えそう」「つけようか？」真楽武が何やらもめていると宇行「行ってくるよ」森の奥の方へ出かける時は「あっちの基地へ5人。行ってきまーす」と宇泰。ランチの準備がいつも通りスムーズにはなかなかいかない時。櫂「まだお味噌汁ないんだけど…」宗「大人がわっさんしかいないんだから自分で取りに行け！」フルーツをカットするのが間に合わず「デザートまだ～？」と松麗から声があがると、行「わっさん一人で大変なんだから待ってろ！」宗「わっさん ゆーっくりで大丈夫だよ。夜になったって大丈夫だよ。待ってるから」行「夜までは待てねーだろ（笑）」国「自分でたきこみご飯のなかわりしようね。自分でやっていい？」どれもこれも温かい思いに満ちた言葉。みんな。ありがとう！

お散歩の日。泰の後ろになった美は泰が葉っぱを取ると美も葉っぱを取り 棒を拾うと棒を拾い…ずっと泰のまね。真似する方もされる方も嬉しそう。 ホウの葉を手に取り おばけになっている平。同じようにしている真が近づき「一緒だね！」麗もそこに加わり、その3人を見た友「一緒でいいね」とにこっ!! 陽がジッパーの穴にムラサキツユクサなどを差しコサージュのようにしているのを見て理明も同じようにしたくて苦戦。それでも手伝ってもらいながら3人 おそろいに… 真似。一緒。おそろい…ほほえましい光景でした。遼陽心が「♪あいたかった。あいたかった」と歌っていると。手を歩いていた泰がひと昔前のアイドルばりの笑顔とふり返り方で「♪きみに～」と3人に歌いかけるので3人は大喜び。しばらくそれを繰り返していました。泰と渚が座りこんで険悪なムード。泰が無理矢理 わりこんで渚が拾っていた枝から松ぼっくりが沢山落ちてしまったことが原因の様子。ス「どんな時でも無理矢理はよくないね」2人は座りこんだまま。泰「ごめんね」渚「そんな軽いごめんねなんていやだ」泰「もうごめんねって言ったからいいんだよ」渚「大切だったのに…」泰「あのね。森のものなんだから森に返さなきゃだめなんだよ」だんだん話を別な方に持っていき渚を攻めるような調になりました。渚「もう泰と話していてもよけい悲しくなるから もういい」と立ち上がって先へ行ってしまいました。残った泰が霜柱のかたまりを見つけ「すげえ一見て見て！」と手にしたのでス「それをパンってぶつかって落としたらどんな気持ちになる？その後にあーそれは森のものなんだから森に返さなきゃだめなんだよ！って言ったらどう？」泰はちょっと表情が変わって「すごくいやだ…」

タカキビの脱穀を手伝っていた才理朝があそこの家でタカキビのおかゆをしようとデッキ近くのテーブルの周りでお家ごっこを始めました。後が家の中から手招きして「このうちはなかなかいいよ」と言うので行くと確かにお日さまがあたり気持ちも暖かでなかなかいいおうち。各々シートを広げて寝っ転がったりタカキビの観察をしたり…。タカキビを手にしていると才「昔の人って大変だよね。お米もすごく大変だったけれどこれも皮がなかなかとれない。早く食べたいのに」本日の献立はタカキビの麻婆豆腐でした。おかゆの時、そのタカキビのほうきを手に取り掃除していた奏「これが麻婆豆腐になるなんて便利だね」昊「おいしいほうきだね」と話していました。昊のほか広がったほうきは広範囲の松葉を掃くのに使いやすい事がわかりました。

昨日行に笑わせられておもらしした宗。登園後すぐに行を見つけて「このやろー」と笑顔で走って追って行きボクシングごっこ。「酔っぱらってんのか？」と行も応答します。本当に仲の良い2人。朝田と別れぎわ大泣きの理。しばらく泣いていましたが外水道の蛇口から氷がたれ下がっているのを見つけた泰が「あれ？こんなところに鼻水。ほら！」とその氷を折って理に見せると理は「ぷっ」と笑って落ち着きました。玄関で真の泣き声。トイレが終って靴を履き終った友をめぐって平真で取り合い。平真おもい3,4発づつパンチし合ったのを見届けてから間に入って ス「もっとたたきたい？」2人に確認すると 2人とも首を横にふる。友を真ん中にして 3人で手をつないで歩いて行きました。

遥 武 心 という珍しいメンバーでリース作り. 心「これとこれをここにくっつけて〜」遥「くっつけて〜」と真似し 武「やめとけ!」等言いつつも大笑い. 各々野バラの実, どんぐり, 松ぼっくりを気に入った場所につけ. 森に飾ると 遥「クリスマスだね〜」

渚 明 のお誕生日のお祝いの日. ろうそくに雨があたってなかなか点きません. トータ係は 耀 俊. 耀 が持つろうそくが消えそうになると 俊 が両手でそっと火が消えないように囲いを作ってくれました.

せ が 棒を拾ってモミの幹を叩き出し. せ「あれ, この木とこの木 音同じだわー! これはどうかな?」と栗の木を叩きました. せ「あ! 音ちがーう」その様子に 宇 星 海 な も 棒を拾って 皆で森の音探検に出かけました. 「せっちゃん この木 一番好き!」と言った木は 4本に分かれていて 2本が途中で切られていて各々違う音. せ「4つも楽しい音がするの〜!」

求 が 食後 転んだことから「抱っこ!」と涙. 美「遠く, 森, いこ!」と森の奥を指さすのを聞いて 万 璃 が「もっちゃん, 遠くの森に行きたいの?」「行こうか!」と手を引いている. 近くにいた せ 悠 も一緒にツルがある基地まで行き「もっちゃん ぶーらん!」「ほら, ゆらゆらできるよ」と誘うとすっかり 武 も笑顔. 璃 が藤の実のさやをいくつか見つけ 中に豆がまだ入っているのも見つけ. 「かたくて割れないなー」と苦戦していると 万「石でたたいてみたら?」万 せ 璃 が石でたたいたり 木の幹にたたいたりしていると パカッとさやが割れ まん丸の碁石のような豆が! やったー きれいー と全員で大喜び. 悠 と 求 は にこにこ指令している. 藤の実は 全員 1つずつ分け. 宝ものように持ち帰っていました.

どんぐりの帰りの集まり. 「♪雪のこぼうず〜♪」を歌ったあと. 絵本を読んでいたら どーっと風がふいて 木の上の雪がものすごい勢いで落ちてきました. みんな 大笑い! 大喜び! 遥「中きのこぼうずが落ちてきたねー!」蒼「いっぱいきたねー!」美「びっくりしたねー」雪で冷たかったのに, 何だかほっこり…

ランチ後 遼 が 手にそりを握りしめている 美 に「今, 使っていないなら貸してくれないかなあ. 遼 そり滑りたいんだけど…」と一生懸命説得している. 美「れーちゃんは今使ってるよー」「だめっならだめ!」心 陽 も「そりで滑らないなら貸してあげなー」「びっぴのみんなのだよ. 美 の物だよ」といろいろな言い方をしているがついには 美「ぜーったいにいや!」と大泣き. 陽「無理やり取っちゃえば?」遼「かわいそうだよー どんぐりだもん」「どんぐりってびっぴのだよって言っても みんな取っちゃうよね. まいちゃんとか」万「小さい時は 遼 や 陽 もよくやだーって泣いてたよー」遼「なんぼえてるー」陽「ひーちゃんも絶対にやだっていっぱい泣いてたよ」遼 陽 心「どんどりってしょーがないねー. 松ぼっくりになるとわかるかねー」「ちょっと待ってあげるかー」美 の周りが やわらかい空気の 三人の言葉…

朝の集まり. 小雪が散らついているのでシェアのフードを被ることを勧めると 前の席の 松 や ど が自分で出来ない事に気がついた 国. さりげなく 目の前にいる 明 にフードを被せてあげている. 他の 和 にも伝わっていきました.

どろんこ状態の広場のまん中で 真 武 遥 は手の感触を楽しむように座ってじっくりいじっています. そのうち 立ち上り. お互いにつけ合ったり. 周りにいる人に「おりゃけだ〜」とつけようとしたり…. 今度は自分のスキーウェアにつけまくり. どろんこ地に座りこみ 本当に楽しくてたまらないという表情. 家族がいたら 絶対に止められるだろう. 2才という感覚時代に 感覚を刺激する遊びがたくさんできたらいいなと思います.

崖で遊んでいた 国 と 愛. 国「これ きつねの足跡かな? その横にうさぎもあるみたい」「足跡を追いかけてみようよ」途中で足跡が見ぶれしているような感じに. 国「どうしたのかな?」愛「あー!! (のぎこえ) うんちがある!」国「ここでうんちしてたのかー! だから足跡がへんなのかな」すっかりおもしろくなった二人. 国「あそこにもう一匹いるよ. 見てみよう!」こちらのうさぎも足ぶれをしたような所には必ずフンがありました. 小鳥やりすの足跡も見つけ. 万 もまざり. 愛「えー! りすってこんなにジャンプできるんだ!」万「かわいい!」国「ここの木に登ってたんじゃない?」と想像をめぐらし, 雪の上の足跡探し散歩を楽しんでいました.

こう が 10 ハウスへ走って来て一目散にトイレへ. 出てくると こう「あーよかったー間にあったー!」と本当にほっとした様子. 悠「あぶなかったな. よかったな」と相づち. ランチ前のトイレタイムでは. 和 男子達が立ちションをしていると 果 「まず いっぱいためて そのあと グーッて力を入れないと遠くに飛ばないんだよ」とレクチャー. それをみんな真剣に聞いている. 男子は. おしっこで深くつながります.

く あ がお出かけ日で 松 ど だけの保育日. 朝から 松 は「どんどりさんを学ぶんだよね」「やまだから学ってあげるよ!」と張きっている. ランチ時. 「あらアルミホイルが破んでるよ. 鉄に入れて!」「大きいおにぎりをのどによく食べられるねー」等と声をかけている. 求 のおにぎりが進まない様子に 心「はい. カバの口で食べてみましょう」「もうちょっといちごが食べられるよ」と最後までずーっと一緒にいてくれて 求 は苦戦しながらもほとんど口に入れることができました. 食後も 心 と 求, 明 と 真 は一緒に遊んでいて. 真 が着がえに 10 ハウスに行った時も 真「あすかちゃん. 何シャツ着ているかな. まひろ 今日はずっとあすかちゃんと遊ぶんだ!」次の日の朝. お母さんと離れがたくて涙の 明. 久 が昨日の 真 との話をすると, 涙はぴたっと止まります. 心 は. 昨日 ど をたっぷり見てあげたからか 小さい人と手をつなぎたくて仕方ない様子でした.

(武)に押されて怒った(平). 森の中へ消え. しばらくすると(平)「ごめんなさい 土れにもどってきた」と怒りの気持ちを静めてもどってきました. (平)「ごめんなさい しないと又怒って行っちゃうよ!」と(武)と向き合おうとしていました. (と)達もなかまとの関わりが深まってきています.

朝の集まりが終わってふと気づくと(と)達が森の奥にもぐります. (平)(遥)(武)(は)(真)が基地の所に集まっていて(ま)(蒼)もやって来て. この森は(と)達にとってすっかり安心できる場所になったようです. 粉砂糖のような雪が葉っぱの上に降っていて(は)(遥)(平)がほおの葉の上に積もった雪を手にサラサラーとのせ. 「お砂糖だ!」と. (遥)は「あ. でもお砂糖は茶色だ」. (は)は手袋を取って雪を手の上にのせ. 溶けていくのを見ている. (は)「あ. 雨になった! なっちゃん雨好き!」(遥)「なんで雨好きなの? 水だから?」(は)「うん!」 (明)がやって来て「みんなー! 行くよー!」と(と)達を先導. 滑り降りに行こうと声をかけました. (遥)「あすかちゃん. 一緒に乗ろう!」(明)「いいよー! いこう♪」ととても頼もしい. (武)(真)(遥)は一緒にごろんごろんと転がって楽しんでいました. 少し離れた森の中で(蒼)と(ま)がぴったり二人っきりで遊んでいます. トイレに行った時(蒼)「まっちゃんは? まっちゃんと遊ぶ!」よい時を過ごしている二人です.

広場では. (蒼)(行)(宗)(宇)(櫂)(海)たち中心に(奏)(昊)(優)(心)(翠)(悠)が氷上をほうきで掃いたり スコップで整備し. 角材を滑らせてカーリングごっこを楽しんでいます. どんな状態のフィールドでも 工夫して遊んでしまうこども達のアイデア. たくましさに感心しています.

(美)「みーちゃん これ見つけたの」と蔦のさやを見せてくれ「1コ見つけたいのー! 一緒に探しに行こう!」と(又)を誘います. (遥)「私. どこにあるか知ってるよ! 行こう!」(京)「1コ見つけたいって 1コ持ってるじゃんねー」(昊)「もう1コってことなんじゃないの?」みんなも一緒に自然に森へ…. めずらしく根入りの大きなさやを見つけ(美)は嬉しそう. (京)先頭で森のやぶの中をけらけら笑いながら探検していました.

(ま)が「そりがほしい〜」と言いに来て 広場の中央あたりに赤いそりがぽつんと2つ. あったので(又)が伝えている時. (真)がダダーッと走って2つとも手にしてしまい(ま)はがっかり…. でも(真)が1つのそりに(蒼)をのせ 遊び始め. 1つあきました. それを見ていた(行)が(ま)のところにそりを持ってきてくれ しかも ひもの部分を手渡していました. 「ありがと」の(ま)の声を思わずさそうに聞いてほほえむ(行)でした.

この日は(ゆ)ハウスで(と)お母さん達のおやつ事. トイレタイムの(と)達が玄関に入るなり. お母さん達のたくさんの靴. (は)「あっ! ママの靴だ! 靴を忘れていったんだね」(真)「お迎えの時教えてあげようね」トイレタイム. 少し体をあたためていた間. だれもすぐそこにお母さんがいらっしゃる事に気づいた人はいませんでした. 体をあたためていたお部屋で… スカートをはいた(美)が(遥)に両手でしがみつき. (遥)「やめてよー」とおろおろしています. (美)はかなり強引です. (又)「みーちゃん どうしたいの?」(美)「抱っこさせてほしいのよ」(又)「みーちゃんがはるくんを抱っこしたいの?」(美)「そうなのよ」と言いながら手は決して離さず…. (又)「はるくんに聞いてごらん? 抱っこしていいって?」(美)「抱っこしていい?」絞ぞりする(遥). いきなりスカートをはいた(な)が(遥)のところへ行きぎゅっと(遥)を抱きしめる. 気に嬉しそうな(遥)は力をぬいて抱きしめられている. (又)「はるくんがみーちゃんを抱っこしてあげたら?」(遥)は幸せそうな顔で(美)をぎゅっ!! と抱き寄せる. (美)も本当に嬉しそうに抱きしめられ. しばし二人だけの世界…

えりんこたいそうで(通)が苦手なマットに挑戦している. 涙も出始め. それでも何かをつかもうとしている姿に. (優)「何かごほうびあげたくなっちゃったー」

アート絵本作りで. 登場人物のキャッチフレーズが(ま)達に「どうして もうすぐこの森からいなくなるの?」と質問した場面で. (京)「もっと大きなところへ行って おれ達ももっと大きくなるのさ!!」

オペレッタ「森の愉快な仲間たち」に初めて出演した(松)達. 終わったとたん. (理)「あー楽しかったあ!!」(悠)「楽しかったね!!」(修)はオペレッタの歌を口ずさんでいる.

卒園製作の一回目の針仕事を終えたとたん. (優)「楽しかったあ! はやく続きをしたい!!」(京)は立ちションをしながら 上を見上げ「楽しかったあ!!」と叫んでいる.

(ま)達のぴっぴ最後のランチは. (ま)達のリクエストメニューに. (ま)達は話し合いました. 最後に残ったのが ①パンとらくだ入りスープ ②焼きそば ③黒米とふりかけと味噌汁. パンと黒米でみんな悩みましたが ①のメニューになりました. デザートはフルーツバイキング. フルーツたっぷりを好きなだけ. おかわりをして食べたい!! 4年間の詰まった思いに溢れる涙あり. はじける笑顔あり… 充実した表情の10人の(ま)達です.